

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587026902	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	三浦 桂一郎 / Miura Keiichiro, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	三浦 桂一郎 / Miura Keiichiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	三浦 桂一郎 / Miura Keiichiro, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students	1, 2, 3, 4年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kei-miura-e-mail nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	顎口腔再生外科学分野		
担当教員TEL / Tel	095-819-7704		
担当教員オフィスアワー / Office hours	kei-miura-e-mail nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	国内・外での病原性感染症発祥の歴史や国際伝播、情報共有について理解を深め、認識するとともに、国際人として国際社会で活躍するために、自ら医療の安全、安心の意識を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・国内・外で注目されている感染症および生体防御の基礎について理解する。 ・医療現場における安全と安心について理解する。 ・歯科医療における安全と安心について理解する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポート (70%)、小テスト (15%)、授業参加度 (15%) による評価で計100点満点中60点以上の者を合格とする		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	医療現場・感染症・国際伝播・情報共有		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントの配布とスライドによる講義なので教科書・教材・参考書等特になし		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用である。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	歯科における標準予防策 (三浦)		

第2回	歯科治療における偶発症とその防止策（三浦）
第3回	新興感染症出現の背景と致死性の高いウイルス性出血熱に関する基礎知識（安田）
第4回	テレビや映画の中の感染症：正しく伝えられているか？（安田）
第5回	病気を起こす原虫とは？（安田）
第6回	世界的に重大な感染症マラリアに関する基礎知識（安田）
第7回	ネグレクトッド・トロピカル・ディジーズ（顧みられない熱帯病）：「死なないからと放っておかれてはたまらない」1（濱野）
第8回	ネグレクトッド・トロピカル・ディジーズ（顧みられない熱帯病）：「死なないからと放っておかれてはたまらない」2（濱野）
第9回	細菌の感染の仕組み（濱野）
第10回	地球規模のピロリ菌感染（濱野）
第11回	「防御は最大の攻撃??ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか？（濱野）
第12回	「防御は最大の攻撃??ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか？（安田）
第13回	医療機関における安全管理（松本）
第14回	医療連携における安全・安心（松本）
第15回	診療録管理を通じた安全・安心の医療の提供（松本）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587027301	科目番号 / Subject code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (社会科学からみた安全・安心)COC+ / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru, 三浦 桂一郎 / Miura Keiichiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6300 (代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時応談		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講義は、ASEAN(東南アジア諸国連合)を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。 ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。 そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。		
授業到達目標/Course goals	本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。 1. 定期試験(50%) : 定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト(@10%×2回、20%) : 期中に2回実施する。 3. 予習用課題(@1%×15回、15%) : 講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題(@1%×15回、15%) : 講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料 (https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment) を挙げる。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特にない。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。 2. 本講義は、必携PCを用いる。持参して出席すること。 3. 講義内容に関する質問を歓迎する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション: 本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか(知らないか)に関する調査も実施する。
2	世界とわが国とASEAN その1: おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
3	世界とわが国とASEAN その2: 経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
4	タイ その1(歴史・地理・人口・経済)
5	タイ その2(企業と産業)
6	タイ その3(社会貢献と昨今の情勢)
7	マレーシア
8	Mid-term ASEAN Quiz
9	ベトナム その1(歴史・地理・人口・経済・企業)
10	ベトナム その2(食料生産と環境保護)
11	フィリピン
12	インドネシア
13	その他各国 その1(ラオス、カンボジア、ミャンマー)
14	その他各国 その2(ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール)
15	総括とASEAN Quiz その2
16	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587027701	科目番号 / Subject code	05870277
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12171_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (工学から見た安全安心(エネルギーと資源)) / Energy and Natural Resources from the Viewpoint of the Engineering		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 三浦 桂一郎 / Miura Keiichiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki nagasaki-u.ac.jp, "tomo" (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	工学部1号館3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528(桃木)/2531(山口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜: 5校時(事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標/Course goals	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	毎回の講義出席を原則とし、定期試験(70%), 3回のレポート(30%)で総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	環境問題, 化石燃料, 原子力, エネルギーの質, 地球温暖化, 食料増産		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	担当教員が、適時資料を配布するか、または、受講者各自にdownloadしてもらおうURLを知らせる。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日本は、天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず、エネルギーの問題は、1973年および1979年のオイルショックの後はあまり関心を集めてこなかった。しかし、地球温暖化の問題や東日本大震災後を経て、国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は、常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い、疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	概説, 準備, アンケート	A
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要なのかについて, それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。	F
第3回	エネルギーの定量的な取り扱いに関する講義の続き。	F
第4回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。	F
第5回	発電について 1: 発電の方法および効率に関する簡単な講義と, 国内技術の現状について説明する。、電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや、それに起因した地球環境問題について議論する。	F
第6回	発電について 2: 電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや、それに起因した地球環境問題について議論する。	A
第7回	国内および世界のエネルギー事情 (1) : 資源エネルギー庁による最新版のエネルギー白書を参考にここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。 また、長崎大学での海洋エネルギー利用技術研究の現状を簡単に紹介する。	F
第8回	国内および世界のエネルギー事情 (2) : 日本機械学会動力エネルギー技術部門や日本伝熱学会等、国内外のエネルギーに関連した分野の研究者や技術者の関連動向を踏まえて、最新の状況について講義する。	F
第9回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I : 気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。	F
第10回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II : 気候変動の影響を講義する。	F
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III : 気候変動の緩和策を講義する。	A B
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 統合報告書: Working Group I-IIIの報告の総括	A B
第13回	COP3における京都議定書の採択と、それ以降のCOPについて説明する	F
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた: IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。	A B
第15回	持続的社會に向けての取り組み: 省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議論する。	A B
第16回	定期試験	E